平成21年８月

とりぎん　経済動向

鳥取県経済　６月の動き

概　況

県内の経済活動は、個人消費では、大型小売店販売額や新車販売台数で前年割れの状況が続き、建設関係は、公共工事が緊急経済対策の執行等により増加しているものの、住宅着工は低迷している。一方、生産活動は一部に持ち直しの兆しが伺えるものの水準は低く、雇用情勢も依然として厳しさが続いている。総じて、県内の景気は低迷している。

生産活動では、鉱工業生産指数は前月比（季調済）が2ヶ月連続で上昇したが、前年比（原指数）では8ヶ月連続で前年を下回った。個人消費では、スーパー売上高（店舗調整後）が7ヶ月連続で前年を下回り、百貨店売上高も15ヶ月連続で前年割れとなった。ホームセンターも3ヶ月ぶりに前年を下回り、家電量販店も9ヶ月連続で前年を下回った。自動車販売は11ヶ月連続で前年を割り込んでいる。建設関係では、公共工事の請負金額が5ヶ月連続で前年を上回ったが、住宅着工は6ヶ月連続で前年を下回った。

生産活動をみると、鉱工業生産指数（季調済）は、パルプ･紙･紙加工品や食料品･たばこなどが低下したが、電子部品・デバイスや繊維、金属製品などが上昇し、前月比2.4％上昇の78.2となり、2ヶ月連続で前月を上回った。出荷指数は、電子部品・デバイスや金属製品などが上昇したが、パルプ･紙･紙加工品や食料品･たばこなどが低下し、同1.1％低下の75.3となり、3ヶ月ぶりに前月を下回った。在庫指数は、食料品･たばこや一般機械などが上昇したが、電子部品・デバイスや電気機械、パルプ･紙･紙加工品などが低下し、同2.6％低下の97.7となった。

建設では、公共工事の請負金額は、その他は前年割れとなったが、独立行政法人等や県、国、市町村が前年を上回り、全体でも5ヶ月連続で増加（前年比21.5％増）した。新設住宅着工戸数は分譲住宅が6ヶ月ぶりに前年を上回ったが、持家は9ヶ月連続、貸家（給与住宅を含む）も2ヶ月ぶりに前年を下回ったことから、全体でも206戸（同17.9％減）と6ヶ月連続で前年を下回った。

個人消費では、ホームセンターが前年比0.3％減と3ヶ月ぶりに前年を下回り、スーパー売上高も同6.6％減と7ヶ月連続、家電量販店も同0.7％減と9ヶ月連続、百貨店売上高も同10.2％減と15ヶ月連続でともに前年を下回った。自動車販売は、エコカー減税の効果もあり乗用車が11ヶ月ぶりに増加したが、軽自動車は7ヶ月連続で減少し、総数（同3.0％減）でも11ヶ月連続で前年を下回った。

企業倒産は、件数が4件（前年比63.6％減）と3ヶ月連続、負債総額も3億10百万円（同97.6％減）と5ヶ月連続でともに前年を下回った。

雇用情勢は、新規求職者数が7ヶ月連続で前年比増加したが、新規求人数は21ヶ月連続で前年を下回った。新規求人倍率は0.87倍（前月0.86倍）で前月比0.01ポイント上昇したが、有効求人倍率は0.45倍（前月0.46倍）で前月比0.01ポイント低下し、5ヶ月連続で0.4倍台となった。

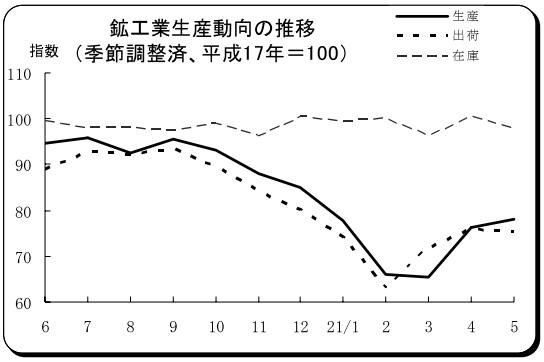
鳥取市の消費者物価指数（生鮮食料品を除く総合、17年基準）は100.1で、前月比0.1ポイント低下し、前年同月比でも1.7ポイント低下した。

生　　産

【鉱工業生産動向】

5月の鉱工業生産動向では、季節調整済の**生産指数**は、パルプ・紙・紙加工品や食料品・たばこなどが低下したが、電子部品・デバイスや繊維、金属製品などが上昇し、前月比2.4％上昇の78.2となり、2ヶ月連続で前月を上回った。**出荷指数**は、電子部品・デバイスや金属製品などが上昇したが、パルプ・紙・紙加工品や食料品・たばこなどが低下し、同1.1％低下の75.3となり、3ヶ月ぶりに前月を下回った。**在庫指数**は、食料品・たばこや一般機械などが上昇したが、電子部品・デバイスや電気機械、パルプ・紙・紙加工品などが低下し、同2.6％低下の97.7となった。

原指数（前年比）では、**生産指数**は、食料品・たばこやゴム製品などは上昇したが、電子部品・デバイスや一般機械、パルプ・紙・紙加工品などが低下し、前年比20.6％低下の71.5となり8ヶ月連続で前年を下回った。**出荷指数**は、ゴム製品が上昇したが、一般機械やパルプ・紙・紙加工品、電子部品・デバイスなどが大幅に低下し、同21.0％低下の68.4となり8ヶ月連続で前年を下回った。**在庫指数**は、プラスチック製品や電気機械などが上昇したが、窯業・土石や一般機械などは低下し、同0.6％低下の96.6と2ヶ月ぶりに前年を下回った。



	鳥取県業種別鉱工業生産指数（平成17年＝100、前月比・指数は季節調整済、前年比原指数）													全国鉱工業生産17年＝100
	鉱工業			金属製品	一般機械	電気機械	情報通信機械	電子部品デバイス	窯業土石	プラスチック製品	パルプ紙・紙加工品	繊維	食料品・タバコ	
	ウエイト		10,000.0	506.7	538.1	1,355.6	1,383.7	1,848.2	518.9	303.8	436.9	425.5	2,011.0	
	指数	前月比	前年比											
17年	100.0	－	▲10.6	▲ 2.4	▲10.1	4.4	▲16.2	▲24.9	▲35.9	▲ 4.6	0.3	▲ 8.8	1.8	1.3
18年	107.6	－	7.6	4.0	23.4	5.7	36.6	2.9	▲10.9	▲ 0.3	3.3	6.4	▲ 1.3	4.5
19年	100.2	－	▲ 6.9	▲ 5.4	3.2	▲ 5.6	▲ 9.5	▲ 6.7	▲34.5	6.7	4.1	▲ 4.8	▲ 9.8	2.8
20年	93.8	－	▲ 6.3	▲ 4.4	▲25.6	6.1	×	▲ 0.9	▲ 9.2	▲ 1.7	▲ 2.2	▲ 5.2	1.4	▲ 3.4
5	94.1	3.4	▲ 7.1	5.6	▲42.7	14.9	▲30.7	7.9	▲ 1.3	▲12.7	8.4	▲ 4.2	▲ 5.4	0.9
6	96.0	0.8	▲ 6.5	▲ 3.4	▲31.8	▲12.7	▲ 1.9	5.2	▲ 5.7	▲ 4.9	10.4	▲ 6.3	▲15.1	▲ 0.2
7	97.2	1.2	▲ 7.1	▲ 1.8	▲23.8	12.8	▲43.1	5.4	▲ 2.5	5.3	14.1	▲ 2.9	3.9	2.3
8	93.2	▲ 3.3	▲14.2	▲14.5	▲20.9	▲ 4.0	▲47.0	3.9	▲34.4	▲ 2.7	7.6	▲ 6.8	▲12.1	▲ 7.2
9	95.2	3.2	3.0	▲ 8.3	▲20.6	15.8	×	9.1	▲14.5	9.9	▲11.7	▲ 2.2	8.7	0.4
10	95.1	▲ 2.5	▲ 4.7	▲16.1	▲ 6.8	8.2	×	7.4	▲12.8	3.7	▲13.3	▲16.4	2.0	▲ 6.6
11	89.1	▲ 5.5	▲16.3	▲18.2	▲27.9	▲ 2.3	×	▲13.2	▲17.1	▲ 7.7	▲25.2	▲11.7	5.8	▲16.5
12	81.8	▲ 3.5	▲17.3	▲21.8	▲43.0	▲ 9.1	×	▲26.8	▲14.9	▲17.6	▲27.0	▲10.4	22.1	▲20.7
21.1	78.2	▲ 8.5	▲24.0	▲18.5	▲32.5	▲11.0	×	▲47.3	▲26.7	3.3	▲31.3	▲17.9	1.0	▲30.9
2	67.8	▲15.0	▲35.8	▲29.7	▲45.4	▲32.3	×	▲54.8	▲22.4	▲ 8.6	▲33.5	▲19.3	▲ 2.2	▲38.4
3	66.2	▲ 0.9	▲31.5	▲44.9	▲53.7	▲25.2	×	▲58.3	▲12.9	▲ 5.1	▲25.8	▲24.7	2.0	▲34.2
4	76.4	16.6	▲15.9	▲43.3	▲33.7	▲12.3	×	▲52.7	▲26.3	▲15.5	▲12.7	▲32.8	9.6	▲30.7
p 5	78.2	2.4	▲20.6	▲37.1	▲44.7	▲20.4	×	▲47.0	▲24.1	▲ 8.0	▲38.0	▲24.8	5.4	▲29.5
21年5月の指数(季調済)	78.2	－	－	65.5	58.2	92.2	×	56.0	43.9	93.3	74.5	76.8	97.8	79.1

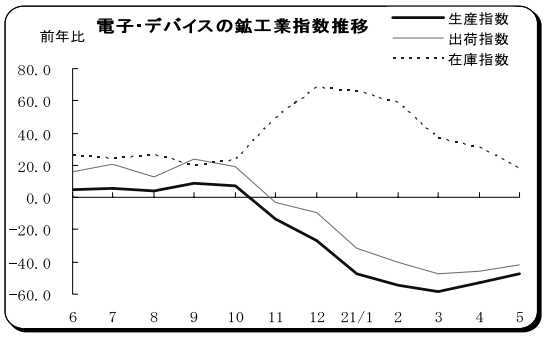
※pは速報値、ｒは修正値

生　　産

【電子部品・デバイス】

～生産指数は7ヶ月連続で低下～

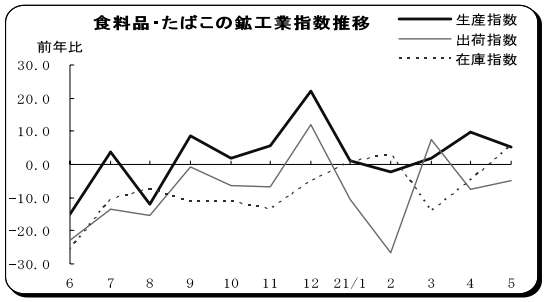
電子部品・デバイスの**生産指数**（原指数、5月）は、半導体素子（発光ダイオードなど）や電子･通信機器用部分品（プリント基板用コネクタなど）などが低下したことから、前年比47.0％低下の51.3と7ヶ月連続で前年を下回った。**出荷指数**（原指数）も同42.0％低下の50.4と6ヶ月連続で前年を下回った。**在庫指数**（原指数）は同17.2％上昇の91.3と24ヶ月連続で前年を上回った。



【食料品・たばこ】

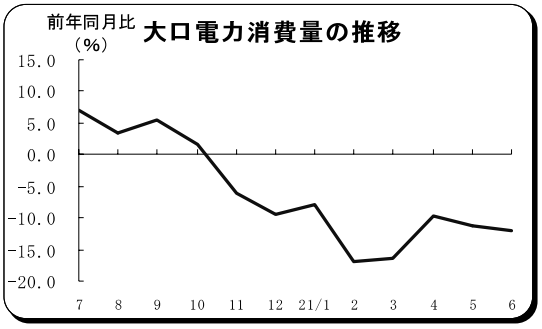
～生産指数は3ヶ月連続で上昇～

食料品・たばこの**生産指数**（原指数、5月）は、その他の食料品（配合肥料など）などが上昇したことから、前年比5.4％上昇の90.3と3ヶ月連続で前年を上回った。**出荷指数**（原指数）は同5.0％低下の67.0と2ヶ月連続で前年を下回った。**在庫指数**（原指数）は同5.5％上昇の109.2と3ヶ月ぶりに前年を上回った。



【大口電力消費量】8ヶ月連続で減少

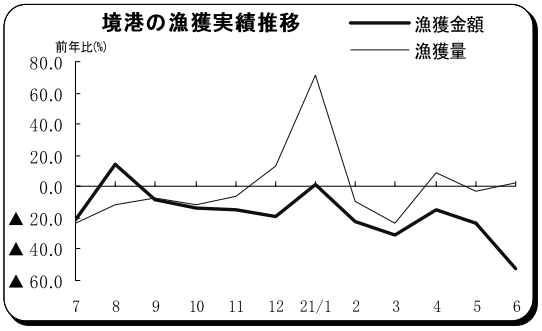
6月の大口電力使用量は、主力の機械（前年比9.0％減）や鉄鋼（同31.0％減）、パルプ･紙（同44.5％減）などが減少したことから、全体でも同12.1％減と8ヶ月連続で前年を下回った。



【水産業】漁獲金額は5ヶ月連続で前年割れ

境港の6月の漁獲量は6,654トン（前年比2.2％増）と2ヶ月ぶりに前年を上回った。漁獲金額は、クロマグロの漁獲量が大幅に減少したことなどから16億32百万円（同52.7％減）と5ヶ月連続で前年を下回った。

水揚げを魚種別にみると、主力のアジ4,141トン（同97.8％増）は3ヶ月連続で前年を上回ったが、イカ37トン（同11.9％減）とベニズワイガニ842トン（同0.1％減）はともに3ヶ月連続で前年を下回った。片口イワシ10トン（同233.3％増）は前年を上回ったが、ウルメイワシとマイワシは漁獲がなかった。



建　　設

【公共工事】　請負金額は5ヶ月連続で増加

6月の県内の公共工事の受注（西日本建設業保証鳥取支店の保証取扱）は、請負金額が81億78百万円（前年比21.5％増）となり5ヶ月連続で前年を上回り、件数も224件（同9.3％増）と5ヶ月連続で前年を上回った。

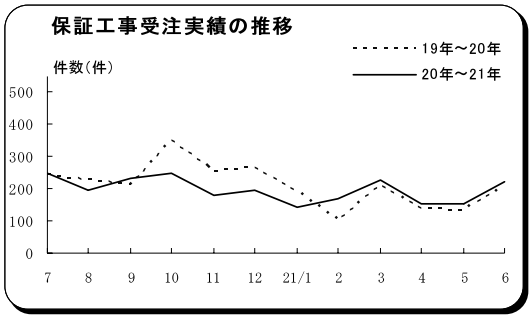
請負金額を発注者別にみると、その他（同52.2％減）は減少したが、独立行政法人等（同82.5倍）と県（同30.3％増）、国（同12.7％増）、市町村（同2.0％増）は前年を上回った。

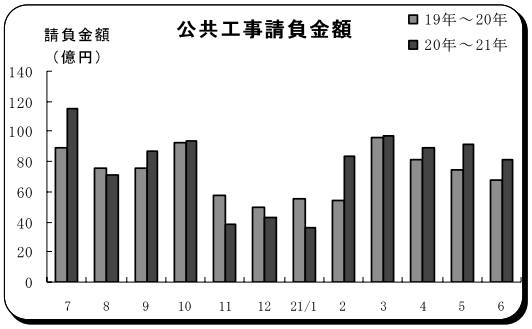
大型工事は、中国四国防衛局の米子射場新設等建築その他工事（米子市、5億51百万円）、鳥取市の（仮称）鳥取市立河原幼稚保新築（建築）工事（鳥取市、3億12百万円）などだった。

公共工事請負金額（平成21年４～６月）　（単位＝億円、％）

発注者別		前年同期比	地区別		前年同期比	工種別		前年同期比
国	93.0	27.8	鳥取	96.6	5.5	土木	167.0	▲ 5.2
独立行政法人等	8.6	▲74.6	八頭	31.4	61.5	建築	48.9	112.6
鳥取県	94.7	26.2	倉吉	39.1	▲10.7	電気	20.0	206.6
市町村	62.0	64.8	米子	86.2	89.9	管	6.1	▲34.4
その他	3.9	23.7	日野	8.8	▲60.2	その他	20.2	170.7
合計	262.2	17.9						

資料＝西日本建設業保証㈱鳥取支店の「公共工事動向」





【住宅着工】　総数は6ヶ月連続で減少

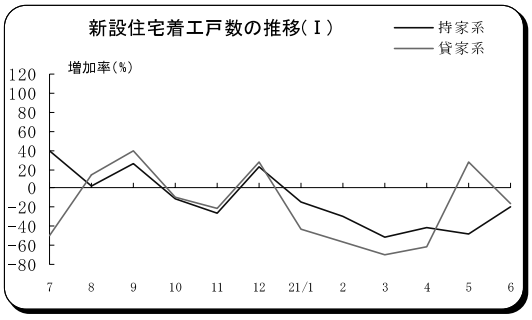
6月の県内の新設住宅着工戸数は、分譲住宅が6ヶ月ぶりに前年を上回ったが、持家と貸家は前年を下回ったことから、総数でも206戸（前年比17.9％減）と6ヶ月連続で前年を下回った。

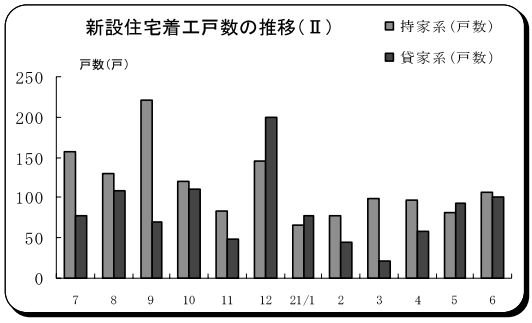
用途別では、持家が101戸（同21.1％減）と9ヶ月連続、貸家（給与住宅を含む）も100戸（同16.7％減）と2ヶ月ぶりにともに前年を下回ったが、分譲住宅は5戸（同66.7％増）と6ヶ月ぶりに前年を上回った。

地区別では、貸家が増加した鳥取市と境港市は総数が前年を上回ったが、貸家が減少した郡部、貸家と持家が減少した倉吉市、全ての用途で減少した米子市は総数が前年を下回った。

地区別新設住宅着工戸数（平成21年６月）　（単位＝戸、％）

	総数	前年同月比	持家	前年同月比	分譲住宅	前年同月比	貸家	前年同月比
合計	206	▲17.9	101	▲21.1	5	66.7	100	▲16.7
鳥取市	81	68.8	37	▲22.9	4	▲100.0	40	－
米子市	54	▲48.1	25	▲41.9	1	▲ 66.7	28	▲51.7
倉吉市	15	▲53.1	5	▲50.0	0	－	10	▲54.5
境港市	15	150.0	7	16.7	0	－	8	－
郡部	41	▲32.8	27	28.6	0	－	14	▲65.0





消　　費

【百貨店売上】 15ヶ月連続で減少

6月の県内3百貨店の売上高は、消費者の所得や雇用に対する不安感から消費マインドが依然として低調であったことなどから、15億55百万円（前年比10.2%減）と15ヶ月連続で前年を下回った。

品目別にみると、家庭用品（同9.3%減）が3ヶ月ぶりに前年を下回り、主力の衣料品（同15.4%減）も15ヶ月連続で前年割れとなり、食堂・喫茶（同15.9%減）は24ヶ月連続、雑貨（同13.0%減）も10ヶ月連続で前年を下回った。身回品（同10.5%減）も17ヶ月連続、食料品（同0.5%減）も8カ月連続で前年を下回った。サービス他（同48.8%増）は4ヶ月連続で前年を上回った。

全国の売上高は前年比8.9%減となり14カ月連続、中国地区も4.0%減と24カ月連続でともに前年を下回った。

百貨店売上高

（単位＝百万円、%）

	21年6月	前年同月比
合計	1,555	▲10.2
衣料品	620	▲15.4
身回品	119	▲10.5
雑貨	230	▲13.0
家庭用品	118	▲ 9.3
食料品	400	▲ 0.5
食堂・喫茶	45	▲15.9
サービス他	23	48.8

注：単位未満四捨五入

【自動車販売】 11ヶ月連続で減少

6月の新車販売台数（軽自動車を含む）は、乗用車が11ヶ月ぶりに前年を上回ったが、軽自動車は7ヶ月連続で前年割れとなったことから、合計でも2,072台（前年比3.0%減）と11ヶ月連続で前年を下回った。

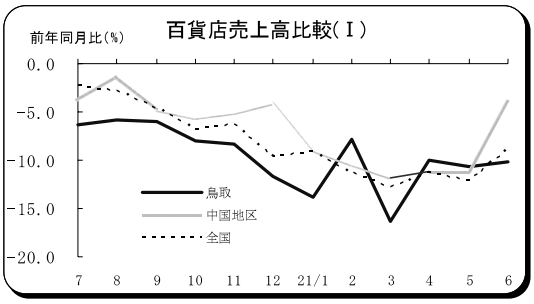
車種別にみると、乗用車は948台（同5.7%増）と11ヶ月ぶりに前年を上回った。内訳は、普通車380台（同11.8%増）、小型車568台（同2.0%増）とともに11ヶ月ぶりに前年を上回った。貨物車等は102台（同34.2%減）と9ヶ月連続で前年割れとなった。バスは1台（同66.7%減）と2ヶ月連続で前年を下回った。軽自動車は1,021台（同5.6%減）と7ヶ月連続で前年を下回った。中古車は382台（同8.5%増）と6ヶ月連続で前年を上回った。

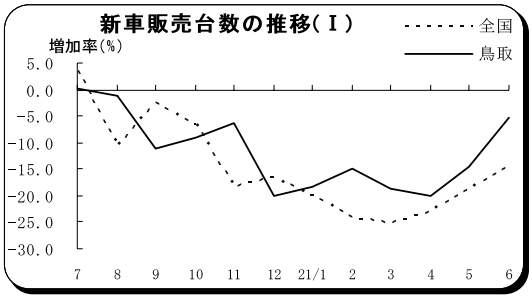
自動車販売台数

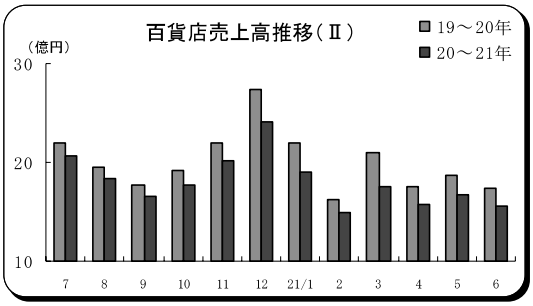
（単位＝台、%）

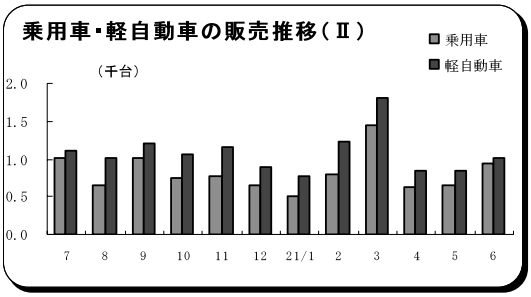
	21年6月	前年同月比
新車合計	2,072	▲ 3.0
乗用車	948	5.7
普通車	380	11.8
小型車	568	2.0
貨物車等	102	▲34.2
バス	1	▲66.7
軽自動車	1,021	▲ 5.6
中古登録車	382	8.5

資料＝ 鳥取県自動車販売店協会









雇　　用

～有効求人倍率は5ヶ月連続で0.4倍台～

6月の県内の職業紹介状況をみると、新規求人数は前年比で21ヶ月連続して減少したが、新規求職者数は7ヶ月連続で増加した。新規求人数は2,908人（前年比12.6％減）、新規求職者数は3,636人（同6.5％増）だった。

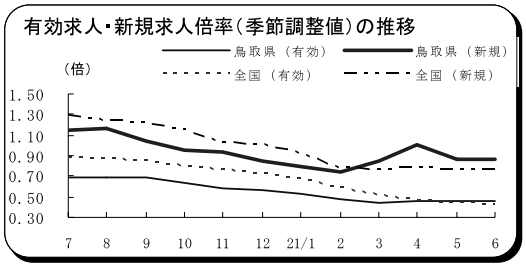
新規求人倍率（季節調整値）は0.87倍で、前月（0.86倍）より0.01ポイント上昇した。

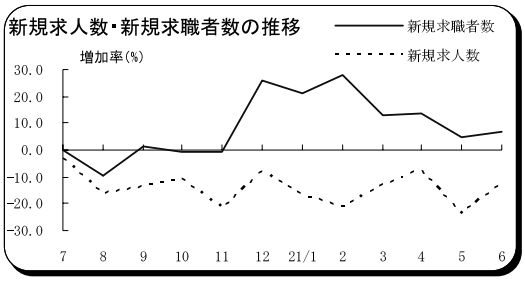
有効求人倍率（季節調整値）は0.45倍で、前月（0.46倍）より0.01ポイント低下し、5ヶ月連続で0.4倍台となった。

新規求人数の一般は1,684人（前年比22.8％減）で、業種別では情報通信業31人（同71.3％減）や不動産・物品賃貸業14人（同61.1％減）などの業種で減少した。

パートの新規求人数は1,224人（同6.6％増）で、公務・その他60人（同400.0％増）や情報通信業54人（同200.0％増）などの業種で増加した。

雇用保険の受給者実人員は6,013人（前年比46.1％増）となり8ヶ月連続して前年を上回った。





企 業 倒 産

～倒産件数、負債総額とも減少～

6月の県内企業の倒産（東京商工リサーチ鳥取・米子支店調べ、負債総額1千万円以上）は、件数が4件（前年比63.6％減）と3ヶ月連続で前年比減少し、負債総額も3億10百万円（同97.6％減）と5ヶ月連続で前年を下回った。

前月との比較では、件数は1件（前月比33.3％増）増加し、負債総額は2億40百万円（同43.6％減）減少した。

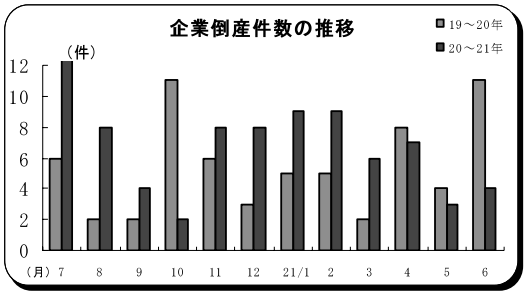
業種別では建設業が2件、卸売業と小売業がともに1件で、原因別では、販売不振による業績の低迷が3件、既往のシワ寄せが1件。

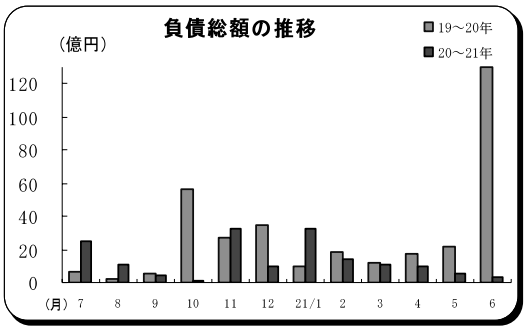
地区別では、県中部地区3件、西部地区1件であった。大口倒産（負債総額1億円以上）も2件発生した。

6月の主な企業倒産　（金額単位＝百万円）

業　種	所在地	負債額	倒産原因
建設業	米子市	100	販売不振
建設業	倉吉市	100	既往のシワ寄せ
卸売業	倉吉市	80	販売不振
小売業	倉吉市	30	販売不振

資料=㈱東京商工リサーチ鳥取・米子支店





国　内　経　済　指　標

	実質国内総生産（季調済）	機械受注額（船舶・電力を除く民需）	建設工事受注（50社）	所定外労働時間（製造業）	全国百貨店販売額	貿易通関額 輸出	貿易通関額 輸入	外国為替相場 米ドル直物終値	基準割引率および基準貸付金利 実施日	基準割引率および基準貸付金利 利率	長期プライムレート 実施日	長期プライムレート 利率
	年度比前期比	前年比	年度比	年度比	前年比	億	円	円/ドル	年月日	年%	年月日	年%
17　年	2.3	5.6	▲ 1.0	▲ 0.4	▲ 0.5	656,565	569,494	117.48	3. 7. 1	5.50	19.10.10	2.45
18　年	2.3	2.0	3.3	3.5	▲ 0.7	752,462	673,443	118.92	3.11.14	5.00	19.11. 9	2.20
19　年	1.8	▲ 3.0	1.6	0.9	▲ 0.7	839,314	731,359	113.12	3.12.30	4.50	19.12.11	2.30
20　年	r▲3.2	▲14.1	▲12.3	▲ 6.3	▲ 4.2	810,181	789,548	90.28	4. 4. 1	3.75	20. 1.10	2.10
6		9.7	▲11.7	▲ 2.2	▲ 7.3	71,521	70,480	105.33	4. 7.27	3.25	20. 2. 8	2.15
7		▲ 4.7	42.3	▲ 2.8	▲ 2.3	76,245	75,426	108.13	5. 2. 4	2.50	20. 3.11	2.10
8	(7-9)	▲13.0	▲ 0.3	▲ 5.7	▲ 2.9	70,514	73,657	108.80	5. 9.21	1.75	20. 5. 9	2.40
9	r▲1.0	▲ 4.2	10.3	▲ 6.5	▲ 4.6	73,613	72,703	104.76	7. 4.14	1.00	20. 6.10	2.45
10		▲15.5	47.2	▲ 9.0	▲ 6.9	69,148	69,900	97.01	7. 9. 8	0.50	20. 7.10	2.40
11	(10-12)	▲27.7	▲12.5	▲19.4	▲ 6.4	53,235	55,510	95.31	13. 1. 4	0.50	20. 8. 8	2.25
12	r▲3.5	▲26.8	▲27.3	▲30.4	▲ 9.6	48,305	52,527	90.28	13. 2.13	0.35	20. 9.10	2.30
21. 1		▲39.5	▲38.3	▲40.7	▲ 9.2	34,804	44,364	89.51	13. 3. 1	0.25	20.10.10	2.35
2	(1-3)	▲30.1	▲24.9	▲50.2	▲11.4	35,264	34,437	97.87	13. 9.19	0.10	20.11.11	2.40
3	r▲3.1	▲22.2	▲37.8	▲50.8	▲12.9	41,838	41,747	98.31	18. 7.14	0.40	21. 1. 9	2.25
4		▲32.8	▲25.9	▲46.8	▲11.3	41,958	41,295	97.67	19. 2.21	0.75	21. 4.10	2.30
5	(4-6)	▲38.3	▲41.9	▲42.2	▲12.1	40,204	r 37,235	96.45	20.10.31	0.50	21. 5. 8	2.10
6	p 0.9	▲29.7	▲28.0	▲40.5	▲ 8.9	p 45,995	p 40,920	95.56	20.12.19	0.30	21. 7.10	1.90
調査機関	内閣府		国土交通省	厚生労働省	経済産業省	財務省		日本銀行			みずほコーポレート銀行	

pは速報値、ｒは修正値　　※週及改定有　　日本銀行の変更に伴うもの

鳥　取　県　経　済　指　標　(1)

	推計人口（注１）	推計世帯数（注１）	景気動向指数 先行指数	景気動向指数 一致指数	景気動向指数 遅行指数	電力消費量 総数	電力消費量 前年比	電力消費量 大口電力	電力消費量 前年比	公共工事保証実績 件数	公共工事保証実績 請負金額	公共工事保証実績 前年比
単　位	人	世帯	%			百万kWh	%	百万kWh	%	件	百万円	%
17　年	607,012	209,541				3,858.7	1.5	919.4	▲ 0.4	3,461	119,352	▲ 6.2
18　年	603,987	212,177				3,912.5	1.4	917.9	▲ 0.2	3,012	109,614	▲ 8.2
19　年	599,830	213,383				3,894.2	▲ 0.5	939.9	2.4	2,646	90,600	▲17.3
20　年	594,915	213,930				3,952.3	1.5	979.9	4.3	2,274	87,650	▲ 3.3
6	595,748	213,821	31.3	r 50.0	50.0	300.4	1.1	88.7	6.8	205	6,730	▲29.5
7	595,510	213,815	37.5	50.0	50.0	317.5	2.6	92.5	7.1	248	11,491	28.8
8	595,283	213,891	37.5	12.5	50.0	382.1	9.5	87.3	3.5	194	7,161	▲ 5.1
9	595,184	213,924	r 25.0	50.0	33.3	341.3	▲ 8.2	86.3	5.6	231	8,672	14.9
10	594,915	213,930	37.5	12.5	16.7	309.9	▲ 2.5	84.9	1.5	247	9,337	1.2
11	594,763	214,105	12.5	25.0	33.3	303.4	▲ 2.4	75.9	▲ 6.1	180	3,882	▲33.7
12	594,661	214,255	12.5	r 0.0	25.0	309.5	▲ 6.0	73.0	▲ 9.4	197	4,276	▲13.1
21. 1	594,437	214,241	6.3	0.0	25.0	355.6	0.0	69.4	▲ 7.8	144	3,648	▲34.2
2	594,058	214,214	12.5	12.5	33.3	344.5	▲ 6.7	63.8	▲16.8	169	8,356	53.1
3	593,702	214,174	25.0	12.5	33.3	329.0	▲ 6.2	68.7	▲16.5	230	9,709	0.7
4	591,611	213,429	37.5	50.0	p 0.0	312.9	▲ 1.4	70.6	▲ 9.7	155	8,948	10.8
5	591,906	214,588	75.0	68.8	p 0.0	280.9	▲ 4.9	70.0	▲11.2	155	9,090	22.2
6	591,740	214,699				283.0	▲ 5.8	78.0	▲12.1	224	8,178	9.3
調査機関	鳥取県統計課					中国電力㈱鳥取支店				西日本建設業保証㈱		

注１：年別は10月１日現在、月別は１日現在。

鳥　取　県　経　済　指　標　(2)

	出荷指数（注１）	在庫指数（注１）	新設住宅着工 総数	前年比	持家（分譲を含む）	前年比	貸家（給与を含む）	前年比	百貨店売上高 県内３百貨店	前年比	スーパー売上高（注２） 県内14社	前年比（既存店）
単　位	前　年　比		戸	%	戸	%	戸	%	百万円	%	百万円	%
17　年	▲14.2	▲ 7.9	4,168	▲12.4	2,193	15.8	1,975	▲31.1	26,246	▲ 2.5	42,939	▲ 3.5
18　年	2.4	6.4	3,908	▲ 6.2	2,231	1.7	1,677	▲15.1	25,813	▲ 1.6	40,648	▲ 1.7
19　年	▲ 6.1	▲ 6.8	3,205	▲18.0	1,837	▲17.7	1,368	▲18.4	24,806	▲ 3.9	41,239	1.5
20　年	▲ 6.0	6.6	2,954	▲ 7.8	1,694	▲ 7.8	1,260	▲ 7.9	23,029	▲ 7.2	39,883	▲ 0.7
6	▲10.1	▲ 5.6	251	▲14.3	131	▲14.9	120	▲13.7	1,732	▲10.1	3,144	▲ 2.4
7	▲ 6.5	▲ 2.3	234	▲14.0	157	33.1	77	▲50.0	2,054	▲ 6.4	3,370	2.6
8	▲ 9.6	▲ 1.5	237	7.7	129	2.4	108	14.9	1,838	▲ 5.9	3,734	▲ 1.7
9	5.4	▲ 1.3	290	28.9	220	25.7	70	40.0	1,661	▲ 6.0	2,799	▲ 1.8
10	▲ 5.4	4.9	231	▲10.8	121	▲11.7	110	▲ 9.8	1,770	▲ 8.0	2,895	▲13.6
11	▲15.6	2.0	132	▲25.0	84	▲27.0	48	▲21.3	2,017	▲ 8.4	3,324	3.1
12	▲13.6	6.6	344	25.5	145	22.9	199	27.6	2,413	▲11.6	3,701	▲ 4.0
21.　1	▲23.8	2.8	143	▲32.9	66	▲14.3	77	▲43.4	1,895	▲13.8	3,812	▲ 6.1
2	▲33.0	0.3	121	▲42.1	77	▲29.4	44	▲56.0	1,494	▲ 7.9	2,792	▲ 7.8
3	▲21.9	▲ 3.4	119	▲56.3	98	▲51.7	21	▲69.6	1,758	▲16.3	2,858	▲ 8.7
4	▲17.6	1.2	154	▲50.6	96	▲40.7	58	▲61.3	1,574	▲10.0	3,171	▲ 5.7
5	▲21.0	▲ 0.6	174	▲24.0	81	▲48.1	93	27.4	1,673	▲10.6	3,152	▲ 5.5
6			206	▲17.9	106	▲19.1	100	▲16.7	1,555	▲10.2		p▲6.6
調査機関	鳥取県統計課		国　土　交　通　省						当　　行		鳥取県統計課	

注１：鳥取県鉱工業指数　　※年間補正により遡及改定　　注２：スーパー売上高のｐ（速報値）は中国経済産業局調べ

鳥　取　県　経　済　指　標　(3)

	新車販売 乗用車	前年比	軽自動車	前年比	中古車販売 新規登録	前年比	消費者物価指数(注3) 鳥取市	前年比	求人倍率 新規	有効	常用雇用指数 事業所規模30人以上	前年比
単　位	台	%	台	%	台	%	17年＝100	%	倍（季節調整済）		17年＝100	%
17　年	14,163	▲ 3.4	15,013	▲ 2.6	5,048	▲ 2.1	100.0	▲ 0.2	1.20	0.77	100.0	11.7
18　年	12,927	▲ 8.7	15,513	3.3	4,861	▲ 3.7	99.5	▲ 0.5	1.21	0.79	99.2	▲ 0.8
19　年	11,923	▲ 7.8	14,492	▲ 6.6	4,393	▲ 9.6	99.3	▲ 0.2	1.19	0.75	95.6	▲ 3.6
20　年	11,091	▲ 7.0	13,613	▲ 6.1	3,859	▲12.2	101.2	1.9	1.07	0.67	96.5	0.9
6	897	▲ 2.2	1,082	▲ 5.3	352	▲16.0	101.8	2.5	1.01	0.71	96.4	0.7
7	1,012	5.3	1,106	▲ 0.6	358	▲ 0.8	102.4	3.2	1.14	0.68	97.2	1.8
8	661	▲ 9.1	1,011	9.2	268	▲16.3	102.5	3.2	1.16	0.68	97.1	1.5
9	1,023	▲11.0	1,201	▲ 4.1	287	▲17.1	102.2	2.9	1.05	0.68	97.0	1.0
10	753	▲19.6	1,065	▲ 5.7	307	▲13.5	102.2	2.7	0.96	0.64	96.8	0.9
11	773	▲22.2	1,148	8.7	287	▲21.8	101.4	1.6	0.93	0.59	96.7	1.0
12	657	▲13.2	883	▲24.9	287	▲ 3.7	100.6	0.5	0.89	0.57	96.4	0.7
21.　1	513	▲25.2	762	▲15.1	221	2.3	100.2	0.1	0.79	0.53	96.7	0.8
2	804	▲24.4	1,217	▲ 5.9	349	19.9	100.3	0.5	0.74	0.47	95.8	▲ 0.2
3	1,450	▲25.8	1,815	▲10.3	565	23.1	100.4	0.4	0.85	0.44	93.7	▲ 1.9
4	634	▲26.5	853	▲11.3	501	24.3	100.3	0.1	1.00	0.46	96.0	▲ 0.4
5	640	▲14.2	842	▲10.5	351	2.0	100.2	▲ 0.9	0.86	0.46	96.3	▲ 0.2
6	948	5.7	1,021	▲ 5.6	382	8.5	100.1	▲ 1.7	0.87	0.45		
調査機関	鳥取県自動車販売店協会						鳥取県統計課		鳥取労働局		鳥取県統計課	

注3：生鮮食料品を除く総合

鳥　取　県　経　済　指　標　(4)

	勤労者世帯消費支出		常用労働者１人平均月間現金給与総額（事業所規模30人以上）		通関実績（境税関支署管内）				境港漁獲実績			
	（注１）	前年比		前年比	輸出	前年比	輸入	前年比	数量	前年比	金額	前年比
単位	円	%	円	%	百万円	%	百万円	%	トン	%	百万円	%
17年	291,503	3.2	308,546	▲ 0.1	46,906	10.7	46,900	▲ 1.8	95,687	▲17.5	17,967	▲ 2.9
18年	298,936	2.5	307,458	▲ 0.3	57,333	22.2	56,199	19.8	103,147	7.8	19,108	6.4
19年	293,925	▲ 1.7	304,452	▲ 0.4	73,362	28.0	55,576	▲ 1.1	117,176	13.6	21,183	10.9
20年	283,792	▲ 3.4	306,564	▲ 0.3	74,054	0.9	59,373	6.8	107,212	▲ 8.5	20,846	▲ 1.6
6	309,893	30.7	425,607	▲ 3.2	7,369	9.7	11,595	129.6	6,510	▲17.6	3,453	41.6
7	270,480	▲16.9	364,620	2.7	7,301	13.9	4,182	▲22.6	6,063	▲23.5	1,862	▲21.3
8	292,410	5.2	265,922	▲ 3.2	7,014	11.4	5,046	▲11.6	4,625	▲11.6	1,066	14.8
9	269,844	▲ 9.4	252,547	▲ 1.5	5,699	▲ 5.2	5,229	27.8	7,534	▲ 7.5	1,367	▲ 8.2
10	282,104	2.3	250,866	▲ 1.5	6,249	8.0	3,970	6.1	11,375	▲11.0	1,538	▲13.4
11	236,131	3.5	262,484	▲ 2.5	4,524	▲31.9	3,165	▲31.1	11,337	▲ 6.1	1,814	▲14.7
12	289,148	▲ 6.2	566,869	1.7	3,100	▲52.2	3,337	▲23.6	12,606	13.4	1,900	▲19.2
21. 1	249,474	▲10.8	247,209	▲ 7.6	2,432	▲58.6	2,914	▲37.5	9,694	71.3	1,418	1.8
2	263,433	▲ 4.8	239,433	▲ 4.6	2,017	▲70.3	1,556	▲64.2	7,403	▲ 9.2	1,286	▲22.7
3	297,235	▲ 7.8	242,025	▲ 3.5	2,652	▲61.4	2,474	▲43.4	11,304	▲23.3	1,207	▲30.7
4	326,055	8.8	244,358	▲ 2.9	3,053	▲54.7	2,050	▲51.4	10,569	9.2	1,217	▲14.8
5	252,517	▲ 8.8	237,232	▲ 6.5	2,657	▲59.5	2,671	▲50.3	8,678	▲ 2.9	1,249	▲22.9
6	336,300	8.5			2,907	▲60.5	3,101	▲73.3	6,654	2.2	1,632	▲52.7
調査機関	総務省統計局		鳥取県統計課		境税関支署				㈳境港水産振興協会			

※注１：月平均、農林漁業世帯含む世帯。※遡及改定有

鳥　取　県　経　済　指　標　(5)

	鳥取県銀行協会　会員銀行				不渡手形				企業倒産			
	預金	前年比	貸出金	前年比	枚数	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比
単位	億円	%	億円	%	枚	%	百万円	%	件	%	百万円	%
17年	18,339	0.8	11,688	1.6	432	▲31.1	269	▲60.2	39	▲27.8	11,841	▲18.4
18年	18,470	0.7	11,304	▲ 3.3	659	52.5	407	51.1	67	71.8	27,766	134.5
19年	18,870	2.2	11,259	▲ 0.4	606	▲ 8.0	482	18.5	52	▲22.4	21,034	▲24.8
20年	18,809	▲ 0.3	10,976	▲ 2.5	955	57.6	1,123	133.0	79	51.9	29,159	38.6
6	19,075	0.2	10,959	▲ 1.2	232	673.3	351	1307.2	11	1000.0	12,990	32,375.0
7	18,800	▲ 0.3	10,973	▲ 1.5	85	240.0	143	159.3	14	133.3	2,452	259.0
8	18,937	1.1	10,946	▲ 1.5	33	▲41.1	49	9.4	8	300.0	1,118	365.8
9	18,408	▲ 1.7	10,955	▲ 2.0	97	106.4	109	233.6	4	100.0	380	▲33.3
10	18,336	▲ 0.3	10,917	▲ 1.7	71	22.4	56	▲ 8.0	2	▲81.8	130	▲97.7
11	18,638	0.2	10,870	▲ 2.2	29	▲65.5	18	▲62.0	8	33.3	3,265	21.1
12	18,809	▲ 0.3	10,976	▲ 2.5	89	93.5	70	203.8	8	166.7	922	▲73.5
21. 1	18,654	▲ 0.1	10,919	▲ 2.1	61	▲23.8	50	10.6	9	80.0	3,199	232.5
2	18,729	0.6	11,028	▲ 1.1	42	▲44.0	59	14.6	9	80.0	1,402	▲23.0
3	18,737	0.3	11,196	▲ 0.3	93	132.5	144	273.1	6	200.0	1,075	▲11.4
4	18,957	2.7	10,965	▲ 0.9	58	23.4	90	56.1	7	▲12.5	965	▲43.9
5	19,194	2.8	11,145	0.8	17	▲77.9	20	85.3	3	▲25.0	550	▲74.9
6	19,634	2.9	11,108	1.4	46	▲80.2	32	▲91.0	4	▲63.6	310	▲97.6
調査機関	鳥取県銀行協会				県内（３市）手形交換所				㈱東京商工リサーチ鳥取支店			

経　済　日　誌

´09年6月

鳥取県内

2日　「近畿ブロック知事会議」が、鳥取市青谷町で開かれた。国直轄事業負担金制度の見直しを求める緊急提言を採択したほか、高速道路網が柱の「広域関西インフラグランドデザイン」の実現に向け2府8県の共同歩調を確認した。

11日　鳥取ガスグループが農業への参入を決め、鳥取市湖山町に借りた農地にサツマイモの苗を植えた。ガス会社の農業参入は中国地方では初めて。初年度の売上は約300万円、4年後の倍増を目指している。

12日　日本たばこ産業（ＪＴ）が米子工場など国内3工場を閉鎖すると発表したことについて平井鳥取県知事は、関係自治体の首長らとともに東京のＪＴ本社を訪れ、工場の存続を要望した。ＪＴ側は、たばこ産業の衰退は構造問題で閉鎖はやむを得ないと主張した。

18日　山陰海岸の「世界ジオパークネットワーク（GGN）」登録を目指し、鳥取、兵庫、京都の3府県の関係者で構成する山陰海岸ジオパーク推進協議会は、日本ジオパーク委員会に国内申請候補地の申請書を提出した。委員会は9月下旬の最終審査を経た上で推薦地域を決定する。

25日　鳥取県は、鳥取大学が開発した染色体工学を活用し、産学官連携によるバイオ産業創出の拠点施設「とっとりバイオフロンティア」（仮称）を、米子市の同大学医学部内に建設すると発表した。総事業費は25億円、11年4月の開設が目標。

27日　境港―東海（トンヘ）、ウラジオストクを結ぶ定期貨客船の第1便が韓国の関係者ら約160人を乗せて境港に入港した。平井鳥取県知事や中村境港市長はじめ150人が出迎え、日韓露3カ国間を人や物資が行き交う「海の道」の開通を祝った。

国内・海外

4日　財務省が発表した1～3月期の法人企業統計によると、製造業の経常損益は2兆2,462億円の赤字だった。赤字は比較可能な1955年4～6月期以降初めて。世界的な景気悪化に伴う自動車などの輸出不振が打撃となった。

8日　東京商工リサーチが発表した5月の企業倒産集計（負債総額1千万円以上）によると、全国の倒産件数は前年同月比6.7％減の1,203件となり、2008年5月以来1年ぶりに前年同月を下回った。

12日　東京株式市況は、世界的に景気が回復に向かうとの期待を背景にして、日経平均株価（225種）終値は10,135円と、1万円の大台を回復した。大台回復は、昨年10月以来、8ヶ月ぶり。

17日　農地を借りる規制を大幅に緩和する改正農地法が、参議院本会議で成立した。所有者保護から農地の有効活用に転換し、借地期間の制限を20年から50年に延長するなどして企業の参入を促す。

17日　日本銀行が発表した資金循環統計によると、08年度末時点での家計部門の金融資産は前年に比べ3.7％減の1,410兆円となり、03年度末以来5年ぶりの低水準となった。約54兆円の資産が消えた計算になる。

17日　政府は6月の経済月例報告で、景気の基調判断を2ヶ月連続で上方修正し、7ヶ月ぶりに「悪化」の表現を削除。与謝野経済財政担当相は「底を打ったと強く推定できる」と景気の底打ちを事実上、宣言した。

30日　厚生労働省が発表した5月の有効求人倍率（季節調整値）は0.44倍で、前月を0.02ポイント下回り、1963年の調査開始以来最低だった。総務省が発表した5月の完全失業率（季節調整値）も、0.2ポイント悪化の5.2％となり、過去最悪の5.5％に一段と近づいた。

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

TOTTORI BANK

発行　鳥取銀行ふるさと振興部
くらしと経営相談所
㊀680-8686 鳥取市永楽温泉町171番地
TEL 0857－37－0220